

古城小だより

旭市立古城小学校

令和元年7月19日

NO. 8



豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成

今日も梅雨空が続いたまま1学期の終業式を迎えました。日照不足、低気温、局部的豪雨など、今年は特別なようです。今年の今頃は、「熱中症」「エアコンの設置」などと騒いでいたことがうそのようです。

こんな中、どこの学校も水泳の授業がなかなか実施できませんでした。早く、梅雨が明け、まぶしい太陽の下でのプール実施が望まれます。明日からは、長い夏休みに入ります。家庭での生活、学習、健康、安全については、学校で指導しました。後は、各家庭での有意義な休みとなるようにお願いいたします。



地域力を学校に!

たくさんの方々に支えられた古城小

ここ2週間は、様々な方に学校にお越しいただき、子ども達に素晴らしい体験、感動を与えていただきました。地域の方々の思いが古城っ子の心を揺さぶり、豊かにし、育んでくださいます。地域とともに歩む学校づくり、そして、本校の特色とする「ふるさと教育」が、実現しつつあります。

4年 読み聞かせ



7月10日(水)4年生の教室で、「映像と音楽を使った「えんとつ町のプペル」の読み聞かせが行われました。4年生保護者の伊藤さんが物語を語り、その友人の大木さんが音楽を奏でます。

「信じることの大切さ」「友情・仲間」「信頼」「不撓不屈」たくさんのテーマがある作品であり、読み手・演奏者の思いが子ども達の心を揺さぶりました。最後は、「夢の実現」に向けて語り合うことができました。読み手も、子ども達も、参加した職員も、涙いっぱい、感動いっぱいの時間となりました。ありがとうございました。

古城地区 高齢者とのグランドゴルフ交流(クラブ)

7月16日(火)には、子ども達と地域のお年寄りがグランドゴルフで交流しました。あいにくの天気で、体育館での実施となりましたが、お年寄りの皆さんからの指導を下に、楽しい時間を過ごすことができました。この体験を機に、秋の旭市スポーツの集いでは、グランドゴルフの部にエントリーしてくれる古城っ子が誕生するかもしれません。楽しい時間をありがとうございました。

また、創作クラブでは、「折り紙先生」こと匠瑛市の林さんに折り紙指導も受けています。パーツを組み合わせて、球体を作るという立体折り紙に挑戦しました。

4・5・6年 合唱指導

7月16日(火)・17日(水)には、合唱指導が行われました。講師は、昨

年に引き続き、椎名美恵子先生です。

2日間は、歌の姿勢や声の出し方などを中心に、今まで習った曲を使って練習しました。今後も、11月6日(水)旭市音楽会に向けてご指導をいただきます。

お話の輪を広げよう in 夏フェスタ

7月17日(水)は今年も読み聞かせグループの方々による恒例イベントが開かれました。



大型絵本「オレ、カエルやめるや」の読み聞かせ、蝋燭の明かりをイメージした暗い演出の中での読み聞かせ「ジャックと豆の木」、詩の唱和「このみち」など、趣向を凝らした演出で、子ども達をお話の世界へと引き込んでくださいました。

また、今年のゲストとして「中央小お話しボランティア」の皆さんによる影絵「花さき山」の上演もありました。

古城小からは、お礼として「みんな素敵」の歌をプレゼントしました。明るい古城っ子の歌声に、中央小ボランティアの皆さんも感動されていたそうです。

このような活動を通して、多くの人との関わり触れ合い、体験し、泣き、笑い、感動し、いたわり、子ども達の豊かな成長へとつなげていきたいと考えます。ご協力いただいたすべての皆さんに、深く感謝いたします。ありがとうございました。



また、子ども達と直接は触れ合いませんが、夏休み前「干潟中学区青少年健全育成会議」が開かれ、PTA本部から鈴木副会長が出席されました。子ども達の健全育成ために地区が共通の認識をもって活動していこうという内容で話し合いがもたれました。そこで、話題に上がった「ゲーム・携帯電話・スマートフォンの使い方」について参考資料として裏面に印刷しておきます。小学校も同一歩調で進みます。ぜひ、参考にしてください。

7月4日の保護者会は、天候を考慮し、急な変更をお願いしたにもかかわらず、混乱なく終了できました。ありがとうございました。また、学校評価保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。保護者アンケート、児童アンケートの結果については、登校日に配布したいと考えています。